

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

2024 年度定時社員総会

1 報告事項

- ・ 報告事項 1 2023 年度事業報告について
- ・ 報告事項 2 2024 年度事業計画及び収支予算について

2 決議事項

- ・ 議案第 1 号 2023 年度決算の承認について
- ・ 議案第 2 号 任期満了に伴う理事の選任について
- ・ 議案第 3 号 定款一部改訂（案）について

(定時社員総会報告事項)

報告事項 1

2023 年度事業報告について

定款第 39 条の規定により 2023 年度の事業報告について事業報告書を作成、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により報告する。

- 1 事業報告書 別紙のとおり
- 2 監査報告書 別紙のとおり

2024 年 6 月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事 山崎 信二

2023 年度事業報告

自 2023 年 4 月 1 日
至 2024 年 3 月 31 日

1 組織活動

(1) 定時社員総会

日 時：2023 年 6 月 21 日（水）14:00～14:45

会 場：唐津シーサイドホテル「虹の間」（佐賀県唐津市東唐津 4-182）

出席数：99 会員（議決権対象 135 会員）うち議決権行使書の提出 60 会員

内 容：報告事項 1 2022 年度事業報告について（了承）

報告事項 2 2023 年度事業計画および収支予算について（了承）

議案第 1 号 2022 年度決算の承認について（原案通り可決承認）

議案第 2 号 任期満了に伴う監事の選任について（原案通り可決承認）

議案第 3 号 理事の辞任に伴う後任者の選任について（原案通り可決承認）

記念講演

15:30-16:15 基調講演「日本発化粧品グローバル価値とイノベーション」

講 師：吉田克典氏 日本化粧品技術者協会（SCCJ）会長

16:15-17:00 パネルディスカッション

「佐賀県コスメティック構想の可能性について」

登壇者：吉田克典氏 日本化粧品技術者協会（SCCJ）会長

徳留嘉寛氏 国立大学法人佐賀大学 特任教授

岡田文裕氏 株式会社マンダム 常務執行役員

(2) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

- | | | |
|-------|--------------|--|
| 第 1 回 | 5 月 23 日（火） | ・ 2022 年度事業報告の承認について
・ 2022 年度収支決算の承認について
・ 2023 年度事業計画の変更について
・ 2023 年度収支予算の変更について
・ 2023 年度定時社員総会の招集の決定について
・ 株式会社 KaratsuStyle 株主総会決議事項の承認について |
| 第 2 回 | 6 月 21 日（水） | ・ 業務の執行状況について
・ 2023 年度事業計画と今後の方針について意見交換 |
| 第 3 回 | 9 月 21 日（木） | ・ 2025-2027 事業計画について
・ 佐賀県監査（財政的援助団体等監査）について |
| 第 4 回 | 12 月 19 日（火） | ・ 2024 年度事業計画について
・ 2025 年度以降の方針について |
| 第 5 回 | 3 月 21 日（木） | ・ 2024 年度事業計画及び収支予算について |

2 新市場開拓事業

(1) 海外輸出支援事業

JCC 会員及び地域産業の海外参入を促進するため、ハンズオン支援、展示会への出展支援、また必要な知識を提供するセミナー等を実施した。

- ・ [国際] 化粧品展-COSME TOKYO 2024.01.17-19 @東京ビッグサイト
IBITA（韓国）と共同出展：来訪者数 35 社（45 名）
- ・ 韓国化粧品市場に関するレポート JCCWEB マガジンにて掲載
第 1 回 9/5、第 2 回 10/17、第 3 回 11/16
- ・ 韓国マッチング事業（3/26～28）
韓国企業 4 社と日本企業 2 社商談会を実施。1 社成約
- ・ Beauty Asia 2024.2.26-28@シンガポール 会員企業出展支援
シンガポール企業 4 社商談を実施。1 社成約

(2) 地域コスメ販路開拓支援事業

展示会への出展、また催事等により JCC 会員及び九州各県の地産素材を活かしたコスメ商品の国内販路開拓を支援した。

- ・ Diet & Beauty 2023 出展 2023.09.25-27 @東京ビッグサイト
共同出展企業 11 社（うち Japan Made Beauty Award 4 社参加）
- ・ 九州コスメプロジェクト：店舗、イベントでの販売支援
店舗販売： JCC ポップアップギャラリー@唐津市
九州ヴォイス 天神ソラリア店@福岡市（～24 年 1 月末まで）
イベント： 9/17（木）唐津ヨガフェス 2023 出展@唐津
10/19（木）第 25 回 佐賀県内女性会合同研修会@唐津
1/21（日）佐賀バルナーズ戦ブース出展@SAGA アリーナ
- ・ 商品開発支援
国内 4 件 海外 1 件→商品開発 2 件（会員間マッチング、2024 年度ローンチ予定）

3 産業創出事業

(1) 産学連携プラットフォーム構築事業

国内外のコスメ関連研究者のネットワークを構築することにより、新技術を創発する場を創造するとともに、産業界に資する人材育成の体制を整備した。

- ・ 共同研究
（新規）城西大学×佐賀大学×玄海町薬用植物栽培研究所×JCC
玄海町薬用植物栽培研究所の未利用部位を中心とした機能分析（～2025 年 3 月末）
（継続）佐賀大学×会員企業×JCC →9 月末終了
- ・ セミナー
10/20（金）15:00-17:00 @唐津 ※会場開催

「天然素材を化粧品の原料にすること～プロセスから注意すべきことまで～」 参加者：36 名
10/21（土）10:00-12:00 @唐津 ※ハイブリッド形式 ※学生対象

「化粧品業界を知ろう！Vol.1 化粧品原料編」参加者：29 名（会場 10 名）

・ 中高大連携事業

10/13（月）長崎県立猶興館高等学校 「未来力育成塾」講師

11/13（月）早稲田佐賀高等学校 「キャリア教育特別講演会」講師

11/17（金）佐賀大学農学部「コスメ産業学」講師、WS 実施

11/30（木）鬼塚中学校 「シビックプライドの醸成」講師

通年 唐津商業高校「からつ学美舎」活動支援（販売体験等）

（2）海外クラスター連携事業

グローバルコスメティッククラスター（GCC）との交流・連携の強化を中心に海外の最新の情報を収集し、JCC のグローバル展開の促進を図った。

・ 海外提携クラスター（6 団体）・グローバルコスメティッククラスター（GCC）との連携

GCC: BtoB business platform を活用したビジネスマッチング→1 件（スペイン）

GCC: コミュニケーション委員会への参加（6/7、10/17、12/13、3/13）

IBITA（韓国）と共同出展：[国際]化粧品展-COSME TOKYO（再掲）

（3）会員ネットワーク形成事業

会員企業のニーズの高い内容のセミナー等を開催、また会員企業等の相談に対し相談対応及び活動支援を行った。

・ セミナー実施

6/21（水）2023 年度社員総会 基調講演（再掲）

8/3（木）15:00-16:30 オンラインセミナー

「中国 NMPA を中心とする中華圏における法規更新と検査・認証における対応事例など」

講師：SGS ジャパン(株) 李继超（リ・ジチョウ）氏 /参加者：36 名

12/5（火）14:00-15:00 オンラインセミナー

「韓国ビューティの『リアル』を解き明かす～韓国コスメの成長戦略と最新トレンド～」

講師：トレンドーズ(株) 飯田安紗美氏 /参加者：46 名

2/15（木）15:00-17:00 セミナー@唐津 ※ハイブリッド形式

「いますぐ、小規模ではじめる！『海外販路拡大のトレンド』を徹底解説」

講師：COUXU(株) 代表取締役社長 大村晶彦氏 /参加者：57 名（会場 27 名）

・ 相談対応

相談件数 45 件（国内 42 件、海外 3 件 /商品開発 14 件、原料関係 4 件他）

（4）立地創業活動支援事業

本地域への産業集積を促進するため、国内外企業の有力案件の発掘を行った。

・ セミナー 10/3（火）14:00-16:00 @福岡 ※会場開催

「成長市場を知る～メンズコスメ市場と ASEAN 輸出ステップ～」 参加者 22 名
講師：(株)ソフィアリンクス 三原誠史氏、(株)WWIP コンサルティング ジャパン 清水鼓由季氏

・ 外資誘致（スタートアップ支援）

11/21（火）IM-GROUND JAPAN（主催:韓国標準協会 共催:Creww Korea, Creww）

バイオ・ヘルスケア業界韓国スタートアップ 5 社と面談→2 社と連携

台日アクセラレータープログラム 2023（台湾 ITRI×Creww の連携事業）

台湾スタートアップ エントリー 7 社→2 社招聘 2/29-3/1@唐津、福岡

3/12-13 韓国スタートアップ 1 社招聘（COCOBERRY CO., LTD.）

3/12（火）15:00-16:00 セミナー@唐津 ※ハイブリッド形式

「化粧品技術セミナー～日・韓アップサイクル原料に関する技術紹介～」

講師：COCOBERRY CO., LTD. ナ・サンフン氏、(株)タカフジ 顧問 背戸克稔氏

参加者：34 名（会場 10 名）

・ 誘致企業 ：(株)AOSTA (<https://aosta.co.jp/>)

4 地域ブランド事業

(1) 情報発信事業

JCC の取組成果や会員企業、地域の魅力を、多様な媒体を駆使して国内外に発信した。

・ コスメバンクプロジェクトの実施 ※佐賀県内とりまとめ世帯配布

5/31（水）494 世帯配布、1/31（水）605 世帯配布

佐賀コスメバンク基金設立準備委員会組織

1/28（日）13:30- 佐賀県母子寡婦福祉連合会にて講演

・ ホームページ運営 セッション数 144,316 / ユーザー数 8,804 / PV 58,776

・ ウェブマガジン発行 3 件

・ メールマガジン 40 件、配信数 1163 件（前年度比 67 件増）

・ プレスリリース 17 件

・ メディア掲載 8 件

・ SNS アカウント（Instagram、Facebook）開設

フォロワー数 Facebook：12 人、Instagram：159 名、LinkedIn：256 人

投稿数 Facebook：53 件、Instagram：投稿 37 件、ストーリー 92 件、LinkedIn：2 件

・ 10/21（土）会員企業事業支援 加唐島椿油 PR イベント@唐津市旧大島邸

・ 共催事業（佐賀県主催）

5/8 高校生向けセミナー「コスメ業界への道筋～コスメ産業人が語る～」

10/22 SAGAn Beauty Weekend2023

2/2 佐賀県 PR プロモーションイベント@タイ

3/25 学生向けセミナー「コスメ業界潜入セミナー」

(2) 地域原料開発支援事業

地産原料の探索、地域資源を活用した原料の開発支援や相談対応を通じて、地産素材

の活用促進と地域発原料供給を促進するための事業を行った。

・化粧品原料受託試験栽培

品目：ハーブ、樹木等 4 種 栽培地：唐津市、玄海町

・佐賀県内素材を活用した化粧品原料開発、供給等支援

佐賀県内素材に関する情報収集、相談対応

玄海プロジェクト（薬草生産組合活動支援）

共同研究：玄海町薬用植物栽培研究所の未利用部位を中心とした機能分析（再掲）

11/11（土）12（日）エネ IKU2023in 玄海 参加@薬草園

（3）JCC 設立 10 周年記念事業

11/10（金）JCC 設立 10 周年記念式典 @唐津シーサイドホテル 参加者 141 名

海外クラスター（5 か国）プレゼンテーション

記念講演「変動する世界のゆくえ～私たちはどうあるべきか」

講師 愛知淑徳大学ビジネス学部 教授 真田幸光氏

5 専門人材配置事業

（1）専門人材配置

当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。

6 名

・事務局長：1 名

・コーディネーター等：3 名（国際 2 名（うち非常勤 1 名）、製販 1 名、原料 1 名）

・ショーケース担当者：1 名

6 会員の状況

（1）2023 年度末

	2022 年度末	2023 年度末（2024 年 3 月 31 日時点）	
正会員	109	106	（継続 91、新規 15）
支援会員	26	25	（継続 25）
計	135	131	

監査報告書

2024年5月14日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

代表理事 山崎 信二 殿

監事 岩田 充浩

監事 泉 謙吾

私、監事は、当会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私、監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

(定時社員総会報告事項)

報告事項 2

2024 年度事業計画及び収支予算について

定款第 38 条の規定により 2024 年度の事業計画及び収支予算を作成し、理事会の承認を得たので報告する。

- 1 事業計画書 別紙のとおり
- 2 収支予算書 別紙のとおり

2024 年 6 月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事 山崎 信二

2024 年度事業計画

JCC は、2023 年 11 月に 10 周年を迎えた。コロナ禍の影響もあり交流が停滞していた各国提携クラスターと関係性を再構築、交流が促進されるとともに、商談会等を通じて、会員企業との交流も活発化している。また、唐津市・玄海町にて耕作放棄地を活用した受託栽培がスタートした。

一方で、会員数は入れ替わりがあるものの減少を続けており、接触をほとんどしていない会員も複数いる。会員は JCC の理念を推進する上のパートナーであり、組織力を高め、維持するためにも重要な存在である。

2024 年度も引き続き会員とのコンタクト機会を増やすとともに、会員ニーズに効率的・効果的に応えるために外部機関との柔軟な連携を進め、情報提供や支援体制の拡充に取り組むとともに、自治体・関係機関等との連携を緊密に図り、適正な事業運営を行う。

また、2025 年度以降を見据えた収支バランスの取れた事業設計、人材配置を進めていく。これらを通じ、会員企業の持続的な企業価値の向上、地域・社会課題の解決による佐賀県の化粧品関連事業による地域活性化、持続的な発展を目指す。

【総括表】

事業分野	事業名
1 新市場開拓事業	(1) 海外輸出入支援事業
	(2) 地域コスメ販路開拓支援事業
2 産業創出事業	(1) 産学連携プラットフォーム構築事業
	(2) 海外クラスター連携事業
	(3) 会員ネットワーク形成事業
	(4) 立地創業活動支援事業
3 地域ブランド事業	(1) 情報発信事業
	(2) 地域原料開発支援事業
4 専門人材配置事業	(1) 専門人材配置

1 新市場開拓事業

(1) 海外輸出入支援事業

JCC 会員及び地域企業の海外販路開拓及びモノづくりの産地形成（輸出用製造）を促進するため、完成品輸出支援の仕組みを構築することを目的とする。

- 海外展示会出展を通じた販路開拓支援：10/16-17 COSMETIC360 共同出展@フランス
- 海外クラスターと連携した経済交流・商談会の開催
- アジア輸出・PIF 制度対応勉強会の実施
- GCC：BtoB Businessplace（サイト）の活用によるマッチング支援、セミナー開催
- 外部機関との連携（KOTRA、TAITRA 等）
- その他各国市場及び業界の情報収集・発信

(2) 地域コスメ販路開拓支援事業

JCC 会員及び九州各県の地産素材を活かしたコスメ商品の国内販路開拓、および会員間のマッチングを支援するとともに、付加価値の高いローカルブランドの創出を支援することを目的とする。

- 国内展示会出展を通じた販路開拓支援：9/30-10/2 Diet&Beauty Fair2024 共同出展
- 九州コスメプロジェクトの推進
 - ・ 取扱い店舗の開拓、取扱い店舗を活用したイベント等による情報発信
 - ・ ポップアップ等イベントの実施
- 商品開発等相談対応

2 産業創出事業

(1) 産学連携プラットフォーム構築事業

支援大学を中心とした会員企業との共同研究促進、シーズ・ニーズのマッチングを図ることで、新技術の創発、ビジネス機会の提供、また産業界に資する人材育成を目的とする。

- 共同研究の促進（大学シーズ発信）：共同研究（未利用素材）1件（継続）
- 技術シーズセミナー
- 中高大との連携促進

(2) 海外クラスター連携事業

グローバルコスメティッククラスター（GCC）並びに海外提携クラスターとの交流・連携の強化により JCC のグローバル展開の促進を図ることを目的とする。

- 世界各国のクラスター情報の可視化及び国内へ情報提供
- 各国レギュレーションやレジストレーション情報、市場参入へセミナー等開催
- GCC サイト BtoB Businessplace の活用（マッチング支援）

(3) 会員ネットワーク形成事業

会員企業のニーズに応じたセミナー、交流会等による、会員間の交流促進、マッチング及び相談対応を行うことで課題解決、機会提供を目的とする。

- 企業活動支援・相談対応
- 会員や地域のニーズに応じたセミナー及びネットワーキングを開催
- WEB マガジン等を活用した会員の情報発信

(4) 立地創業活動支援事業

コスメティック構想の発信による当該地域への関心増大、国内外の進出可能性のある企業探索により産業集積を促進することを目的とする。

- JETRO 等関係機関を通じた企業リストアップ、情報発信

3 地域ブランド事業

(1) 情報発信事業

JCC の取組や会員企業、地域の魅力を様々な媒体を活用して国内外に発信し、JCC の認知度向上、「佐賀＝コスメのまち」イメージ醸成を目的とする。

- WEB マガジン、メールマガジンや SNS 等を通じた情報発信の強化
- コスメバンクプロジェクトの推進

(2) 地域原料開発支援事業

化粧品原料の産地形成による生産者の収入増、耕作放棄等の課題解決。また原料開発支援、活用促進による地域ブランディングの促進を目的とする。

- 化粧品原料素材の受託栽培、試験栽培の促進
- 地域産原料の探索、共同研究支援
- 玄海プロジェクト：玄海町産薬用植物の未利用素材の活用等

4 専門人材配置事業

- 人員配置：事務局長 1、コーディネーター等：3 名（国際 1 名、製販 1 名、原料 1 名）
ショーケース担当者：1 名
非常勤（国際）：1 名
- 職員 2 名を新規採用
→業務内容 事務局長次長
原料担当者（地域原料開発支援事業担当）

2024 年度収支予算書

(単位：千円)

収入の部				
科 目	2024 年度	2023 年度	増減額	摘 要
会費収入	4,500	5,000	△500	
負担金収入	42,000	42,000	0	県：22,400 市：14,000 町：5,600
補助金等収入	0	0	0	
事業収入	5,500	1,500	4,000	
その他収入	0	0	0	
繰越金	9,000	18,500	△9,500	
収入の部計	61,000	67,000	△6,000	

支出の部				
科 目	2024 年度	2023 年度	増減額	摘 要
事業費	45,000	51,000	△6,000	
新市場開拓事業	6,000	3,000	3,000	
・ 海外輸出入支援事業	4,500	1,500	3,000	
・ 地域コスメ販路開拓支援事業	1,500	1,500	0	
産業創出事業	3,500	3,500	0	
・ 産学連携プラットフォーム構築事業	200	1,300	△1,100	
・ 海外クラスター連携事業	2,000	200	1,800	
・ 会員ネットワーク形成事業	1,000	1,000	0	
・ 立地創業活動支援事業	300	1,000	△700	
地域ブランド事業	3,000	12,000	△9,000	
・ 情報発信事業	1,000	1,000	0	
・ 地域原料開発支援事業	2,000	1,500	500	
・ JCC 設立 10 周年記念事業	0	9,500	△9,500	
専門人材配置事業	32,500	32,500	0	
・ 専門人材配置事業	30,000	30,000	0	
・ 専門人材活動費	2,500	2,500	0	
管理費	16,000	16,000	0	
会議費	2,500	2,500	0	
管理費	5,500	5,500	0	
事務費	8,000	8,000	0	
予備費	0	0	0	
支出の部計	61,000	67,000	△6,000	

(定時社員総会議案)

議案第 1 号

2023 年度決算の承認について

定款第 39 条第 1 項の規定により 2023 年度の決算について計算書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により承認を求める。

- 1 計算書類 別紙のとおり
- 2 監査報告書 別紙のとおり

2024 年 6 月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事 山崎 信二

貸借対照表

2024年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,499,553	32,344,343	△ 1,844,790
小口現金	50,656	54,600	△ 3,944
信金口座	5,580,357	9,470,479	△ 3,890,122
収益事業収入口座	3,548,942	1,211,779	2,337,163
大口口座	19,413,539	18,284,065	1,129,474
代表口座	1,905,936	3,323,311	△ 1,417,375
外貨現金	123	109	14
原材料	0	0	0
貯蔵品	121,532	121,532	0
前渡金	902,821	682,821	220,000
前払費用	1,084,926	660,816	424,110
立替金	998	87,240	△ 86,242
仮払金	0	0	0
未収入金	2,547,964	16,707,757	△ 14,159,793
仮払税金	250,300	354,900	△ 104,600
貸倒引当金	0	0	0
流動資産合計	35,408,094	50,959,409	△ 15,551,315
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備	1	1	0
機械装置	224,921	287,369	△ 62,448
工具器具備品	923,851	932,883	△ 9,032
一括償却資産	0	0	0
有形固定資産合計	1,148,773	1,220,253	△ 71,480
(2) 無形固定資産			
システム構築費	0	0	0
無形固定資産合計	0	0	0
(3) 投資その他の資産			
出資金	0	10,000	△ 10,000
投資有価証券	3,000,000	3,000,000	0
敷金	253,440	253,440	0

長期前払費用	441,650	827,750	△ 386,100
投資その他の資産合計	3,695,090	4,091,190	△ 396,100
固定資産合計	4,843,863	5,311,443	△ 467,580
3. 繰延資産			
ウェブサイト	0	0	0
JCCHP	1,963,500	2,524,500	△ 561,000
繰延資産合計	1,963,500	2,524,500	△ 561,000
資産合計	42,215,457	58,795,352	△ 16,579,895
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	0	0
未払金	6,292,019	6,061,193	230,826
前受金	0	0	0
預り金	106,445	615,901	△ 509,456
仮受金	0	0	0
未払消費税	394,800	0	394,800
未払法人税等	35,500	571,900	△ 536,400
流動負債合計	6,828,764	7,248,994	△ 420,230
負債合計	6,828,764	7,248,994	△ 420,230
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	35,386,693	51,546,358	△ 16,159,665
正味財産合計	35,386,693	51,546,358	△ 16,159,665
負債及び正味財産合計	42,215,457	58,795,352	△ 16,579,895

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	50,052,444	67,862,957	△ 17,810,513
会費収入	4,320,000	4,440,000	△ 120,000
負担金収入	42,000,000	62,044,005	△ 20,044,005
委託事業収入	0	0	0
事業収入	3,679,444	1,070,000	2,609,444
その他収入	53,000	308,952	△ 255,952
(2) 売上原価	186,182	84,516	101,666
期首棚卸高	0	0	0
原料仕入	0	0	0
その他仕入	186,182	84,516	101,666
仕入値引戻し高		0	
期末棚卸高		0	0
経常収益計	49,866,262	67,778,441	△ 17,912,179
(2) 経常費用			
広告宣伝費	4,867,538	2,854,305	2,013,233
荷造運賃	160,442	126,734	33,708
給与手当	22,896,607	25,696,894	△ 2,800,287
賞与	0	0	0
雑給（賃金）	0	0	0
退職金	0	0	0
法定福利費	3,730,421	4,406,475	△ 676,054
厚生費	152,764	166,797	△ 14,033
研修費	14,500	12,000	2,500
賃借料	4,056,507	3,566,213	490,294
地代家賃	1,013,760	1,118,760	△ 105,000
修繕費	533,060	396,000	137,060
消耗品費	414,719	233,419	181,300
水道光熱費	120,371	127,142	△ 6,771
旅費交通費	6,023,558	6,328,271	△ 304,713
手数料	176,443	158,374	18,069
租税公課	431,799	359,511	72,288
渉外慶弔費	2,556,098	501,211	2,054,887

保険料	233,969	220,076	13,893
通信費	689,593	607,602	81,991
諸会費	438,700	170,000	268,700
図書印刷費	63,824	85,611	△ 21,787
支払報酬	8,089,117	10,407,000	△ 2,317,883
支払負担金	0	0	0
委託料	6,360,556	1,318,700	5,041,856
会議費	39,959	18,000	21,959
調査費	1,995,000	220,000	1,775,000
試験研究費	495,000	1,777,058	△ 1,282,058
雑費	99,400	96,250	3,150
有形固定資産償却費	71,480	642,841	△ 571,361
一括償却資産償却費	0	0	0
無形固定資産償却費	0	0	0
繰延資産償却費	947,100	713,661	233,439
貸倒引当金繰入	0	0	0
経常費用計	66,672,285	62,328,905	4,343,380
当期経常増減額	△ 16,806,023	5,449,536	△ 22,255,559
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取利息	415	477	△ 62
受取配当金	300	300	0
雑収入	928,422	203,950	724,472
貸倒引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	929,137	204,727	724,410
(2) 経常外費用			
支払利息	0	0	0
寄附金	200,000	1,569,805	△ 1,369,805
雑損失	11,779	308,756	△ 296,977
経常外費用計	211,779	1,878,561	△ 1,666,782
当期経常外増減額	717,358	△ 1,673,834	2,391,192
経常利益	△ 16,088,665	3,775,702	△ 19,864,367
税引前当期純利益	△ 16,088,665	3,775,702	△ 19,864,367
法人税住民税及び事業税	71,000	571,900	△ 500,900
当期一般正味財産増減額	△ 16,159,665	3,203,802	△ 19,363,467
一般正味財産期首残高	51,546,358	48,342,556	3,203,802
一般正味財産期末残高	35,386,693	51,546,358	△ 16,159,665
II 正味財産期末残高	35,386,693	51,546,358	△ 16,159,665

監査報告書

2024年5月14日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

代表理事 山崎 信二 殿

監事 岩田 充浩

監事 泉 謙吾

私、監事は、当会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私、監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

(定時社員総会議案)

議案第2号

任期満了に伴う理事の選任について

定款第26条第1項の規定により現理事全員の任期が本総会終結時をもって満了となるため、次のとおり理事15名の選任を提案する。

1 理事候補者15名

- (1) 山崎 信二 [重任] (株式会社ブルーム 代表取締役)
- (2) 川島 勝郎 [重任]
- (3) 入交 裕司 [重任] (株式会社トレミー 代表取締役)
- (4) 馬渡 雅敏 [重任] (松浦通運株式会社 代表取締役社長)
- (5) 岩瀬 由典 [重任] (岩瀬コスファ株式会社 代表取締役社長)
- (6) 岡田 文裕 [重任] (株式会社マンダム エグゼクティブフェロー)
- (7) 暮部 達夫 [重任] (株式会社クレコス 代表取締役社長)
- (8) 田中 洋子 [重任] (YOKO・JAPAN株式会社 代表取締役社長)
- (9) 陣野 公司 [重任] (本州印刷株式会社 代表取締役社長)
- (10) 大西 晋嗣 [重任] (国立大学法人九州大学 副理事
教授 学術研究・産学官連携本部)
- (11) 寺本 憲功 [重任] (国立大学法人佐賀大学 医学部薬理学 教授)
- (12) 藤井 三絵 [重任] (佐賀県 産業労働部 ものづくり産業課
コスメティック産業推進室長)
- (13) 平田 達也 [重任] (唐津市 経済部 副部長 兼 企業立地課長 兼 就業推進室長)
- (14) 鶴田 豊明 [重任] (玄海町 農林水産課長 兼 農業委員会事務局長)
- (15) 山下 正美 [重任] (唐津商工会議所 専務理事)

2024年6月11日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事 山崎 信二

(定時社員総会議案)

議案第 3 号

定款一部改訂 (案) について

1 第 4 章 (社員総会) の変更

「会社法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」(令和元年法律第 70 号) が成立し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 (以下法人法) の一部が改正された (令和元年 12 月 4 日)。法人法改正により、「社員総会資料の電子提供制度」の新設 (令和 4 年 9 月 1 日施行) に伴い、当会の定款を変更するもの

2 変更内容

現行定款	変更案
<p>第 4 章 社員総会 (招 集)</p> <p>第 15 条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、会長が招集する。ただし、会長に事故があるときは、あらかじめ理事会において定めた順序により、他の理事が招集する。</p> <p>2 総会の招集通知は、会日より 2 週間前までに各会員に対して発する。ただし、会員全員の同意がある場合には、その招集手続きを省略することができる。</p>	<p>第 4 章 社員総会 (招 集)</p> <p>第 15 条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、会長が招集する。ただし、会長に事故があるときは、あらかじめ理事会において定めた順序により、他の理事が招集する。</p> <p>2 総会の招集通知は、会日より 2 週間前までに、<u>会議の日時、場所、目的事項を記載した書面又は電磁的方法をもって、各会員に対して発する。</u></p> <p><u>なお、総会参考資料等については、電子提供措置をとるものとする。ただし、</u>会員全員の同意がある場合には、その招集手続きを省略することができる。</p>

2024 年 6 月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事 山崎 信二

